

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	じん肺診断技術等研修事業	担当部局庁	労働基準局安全衛生部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和49年度開始	担当課室	労働衛生課	椎葉茂樹				
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定	施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 じん肺法第13条	関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	業務によってじん肺を罹患した者に対して、適正なじん肺管理区分決定がなされるためには、地方じん肺診査医にじん肺管理区分に必要な技術等を修得させることが必要不可欠である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	じん肺法に基づくじん肺健康管理の斉一的な運用を図るため、地方じん肺診査医及び地方じん肺診査医就任内定者(以下「地方じん肺診査医等」という。)を対象に研修を行い、じん肺管理区分決定に係る診査を適切に行うために必要な技術等を修得させる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	1	1	1	1	1	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	1	1	1	1	1	
	執行額	1	1	1				
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	研修後の参加者アンケートにおいて、本研修の有用性を問う設問に対し、「有用である」「概ね有用である」と回答した者の割合を、全回答者数の80%以上とする。	成果実績			—	—	100%	80%
		達成度	%		—	—	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	参加者数を1回あたり10名以上とする。	活動実績 (当初見込み)		6	12 (—)	6 (10)	— (10)	
単位当たりコスト	149,167(円/参加者数)	算出根拠	執行額 / 参加人数 = 895,000 / 6 = 149,167円					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.3	0.3					
	委員等旅費	0.2	0.2					
	庁費	0.4	0.4					
	消費税	0	0					
	計	0.9	0.9					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	じん肺診査の精度向上は、常に国民より要求されている事項である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	じん肺診査の結果は、行政庁の処分に直結するものであるから、その精度向上については、国が主体的に行うべき事項である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	予算額が100万円未満のため、少額随意契約により実施。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	その年の参加人数にばらつきがあることから、単位あたりのコストも変動する。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業は事業者責任によりじん肺に罹患した労働者のじん肺管理区分の決定の精度向上に資する事業であり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	研修の実施費用以外には支出されていない。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	地方じん肺診査医を集めて研修を開くことは、じん肺診査の精度向上に最も効果的である。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	昨年度は参加者人数が予定を下回ったことから、より多くの診査医が参加可能となるよう、スケジュール等を考慮したい。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	仕様書に基づき忠実に活動されている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	研修で得た知識は、都道府県労働局におけるじん肺管理区分決定の為の診査に活かされている。
点検結果	単位あたりのコスト抑制のため、参加人数の確保が重要である。よって、開催にあたっては案内をできるだけ早くする等積極的な参加勧奨を展開することにより、参加人数確保に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	じん肺健康管理の斉一的な運用を図るための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき(必要な予算措置に努めること)。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	650-26	平成23年行政事業レビュー	0948

※平成23年度実績を記入

じん肺診断技術等研修事業

厚生労働省  
0.9百万円(平成23年度精算額)

事業管理・受託者への指導



【少額随契】

A 独立行政法人労働者健康福祉機構  
0.9百万円(平成23年度精算額)

研修実施業務全般

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.独立行政法人労働者健康福祉機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	※100万未満の為記載せず。				
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)労働者健康福祉機構	じん肺管理区分決定に係る研修	0.9	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					